

報道関係者各位

株式会社D&I
2019年10月11日

D&I、鯖江市と障がい者の就労機会創出に関する 包括連携協定締結

株式会社 D&I(所在地:東京都千代田区、代表取締役:杉本 大祐、以下 D&I)は、福井県鯖江市(市長:牧野百男、以下鯖江市)と、障がい者の就労機会創出に関する包括連携協定を締結しました。就労機会創出として鯖江市役所内での障がい者の雇用創出と、鯖江市在住の障がい者と県外企業や地場企業をテレワークでつなぎ、SDGs を促進させ、地方創生を目指します。また、市内の地場企業の障がい者の就労に関するアドバイスを実施します。今回の連携協定締結に際し、D&Iと鯖江市によるセレモニーを実施致しました。

■背景

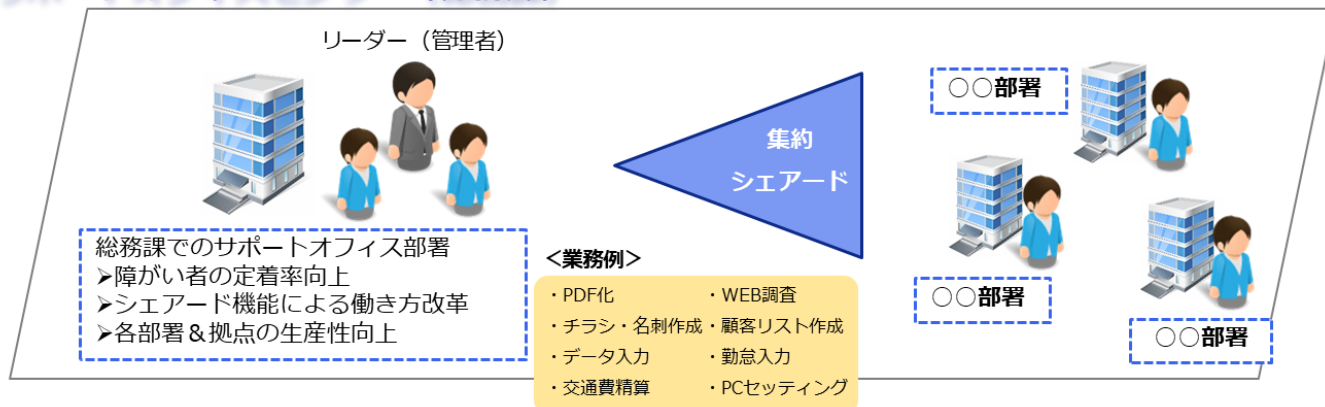
鯖江市では SDGs の目標達成に向けた、優れた取組を提案する自治体を「SDGs 未来都市」、その中でも、特に先導的な取組を「自治体 SDGs モデル事業」として選定されています。これらの取組により地方創生の深化につなげています。その取り組みの一つとして、鯖江市役所内だけでなく鯖江市内においても、積極的に障がい者の就労機会創出を更に促進すべく、このたびの連携協定に至りました。

■連携協定の概要(取り組み)

- (1) 障がい者の鯖江市役所内での就労機会創出
- (2) 障がい者のテレワークによる就労機会創出
- (3) 障がい者のテレワークの理解促進
- (4) その他、障がい者のテレワークの推進
- (5) その他、障がい者の就労に関するアドバイス

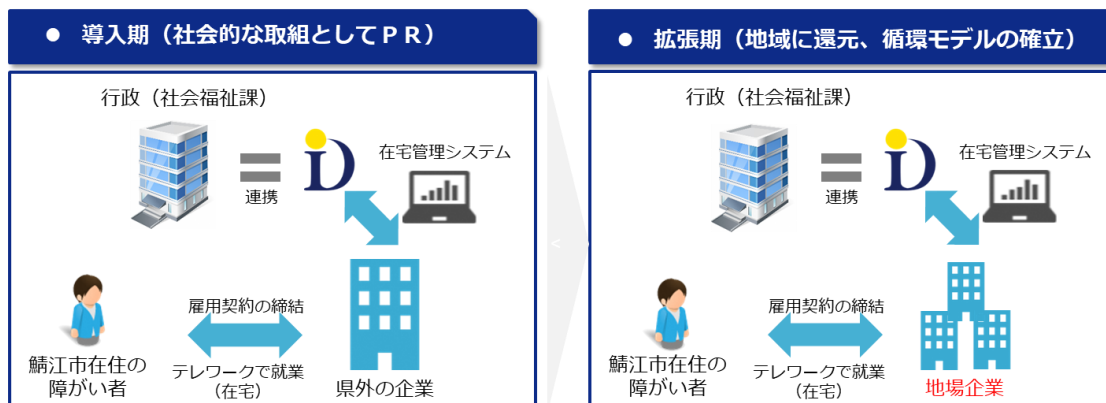
<障がい者の鯖江市役所内での就労機会創出(総務課)>

■サポートオフィスセンター (総務課)



<障がい者のテレワークによる就労機会創出・理解促進(社会福祉課)>

まずは、県外企業と鯖江市在住の障がい者をマッチングし、雇用を創出します。その実績、事例をもとに、地場企業に理解浸透を図り、テレワーク雇用を拡大します。



■今後の展望

まずは主要都市の企業による障がい者テレワーク雇用の成功事例を作ります。さらには、鯖江市の地場企業にも障がい者テレワーク雇用の導入を促進させ、市内のSDGs促進に寄与します。そして将来的には、鯖江市のモデルケースを他の自治体にも広げることで、地方創生の一助となることを目指します。



■本件に関するお問い合わせ・自治体様との連携について

<https://di-corp.jp/contacts>

株式会社 D&I 管理本部 広報担当 TEL: 03-5577-6257 MAIL: info@d-and-i.jp

■テレワークサービス「エンカク」について

<https://di-corp.jp/telework>

■株式会社 D&I について (<https://di-corp.jp>)

本社 : 101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-3 竹橋 3-3ビル5F

設立日 : 2009年8月20日

資本金 : 10,000,000円

代表者 : 代表取締役 杉本 大祐(すぎもと だいすけ)

事業内容 : 障害者の在宅雇用支援サービス「エンカク」、障害者求人掲載数 2,000 件以上で業界 No.1 の「BAB ナビ」、人材紹介「DI エージェント」、就職転職フェア「BAB カンファレンス」、定着支援サービス「ワクサポ」など雇用に関する事業と、就労移行支援事業「ワークイズ」、放課後等デイサービス「テラコヤキッズ」の教育に関する事業を展開。「BEYOND ALL BORDERS」の理念のもと、誰もが挑戦できる社会を目指し、サービスを行っております。